



平成 19 年 5 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 19 年 4 月 17 日

上場会社名 住江織物株式会社

(コード番号:3501 東証・大証第一部)

(URL <http://suminoe.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 吉川 一三 TEL: (06)6251-6803
責任者役職・氏名 取締役経営企画室部長 山形 憲一

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 ・たな卸資産のたな卸高は、一部帳簿たな卸によって算出しております。
 ・法人税等の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 ・セグメント情報の事業区分の方法を変更しております。
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結(新規) 一社 (除外) 5社 持分法(新規) 一社 (除外) 一社

2. 平成 19 年 5 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 6 月 1 日 ~ 平成 19 年 2 月 28 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 5 月期第 3 四半期	57,243	2.3	1,594	7.5	1,768	4.8	2,859	89.7
18 年 5 月期第 3 四半期	55,948	8.6	1,483	61.2	1,687	46.5	1,507	68.2
(参考) 18 年 5 月期	75,493		1,925		2,292		2,134	

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 5 月期第 3 四半期	37	29	—	—
18 年 5 月期第 3 四半期	19	65	—	—
(参考) 18 年 5 月期	27	83	—	—

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期におけるわが国経済は、好調な企業業績と活発な設備投資に支えられ、概ね堅調に推移いたしました。しかし一方で、為替相場、国際的な株価変動、中国の旺盛な資源消費や米国景気の先行き懸念など、まだまだ原材料の動きや、市場の先行きに不透明な状況を現出しております。

当社グループはこのような状況の中、業務構造改革の推進、製造現場力や生産効率の向上を積極的に図り、中期経営計画「ACTION-2008」の目標達成に向け、初年度である当期、着実な一歩を踏み出しております。

業績面におきましては、インテリア事業分野では、企業間の競争が激化し、販売価格の下落が厳しい中、KKR+A (健康・環境・リサイクル+アメニティ) を基本とする環境対応商品を積極的に投入、リサイクルカーペットや独自消臭加工技術“トリプルフレッシュ®”を施したカーペットや壁紙などを中心に積極的に拡販をいたしました。その結果、売上高 27,530 百万円、営業利益 913 百万円となりました。

自動車・車両内装事業分野では、軽自動車为好調に推移し、国内生産台数も堅調だったものの、成熟市場下での販売競争激化と原油価格高騰による原材料の値上げにより厳しい事業環境となりましたが、国内製造基盤の業務構造改革や米国を中心とした海外拠点の拡大を進め、連結収益体制の構築を推進しております。その結果、売上高 25,497 百万円、営業利益 1,450 百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期における当社グループの連結売上高は、前年同期比12億94百万円増の572億43百万円となりました。また、経常利益では前年同期比81百万円増の17億68百万円となり、四半期純利益は、前年同期比13億51百万円増の28億59百万円となりました。

[商品別売上高]

	カーペット	ドレープ	モケット	その他
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年5月期第3四半期	24,327	22,255	2,808	7,851
18年5月期第3四半期	22,658	22,337	3,443	7,508

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年5月期第3四半期	78,236	29,892	37.8	385 59
18年5月期第3四半期	78,320	26,632	34.0	347 27
(参考) 18年5月期	77,445	27,223	34.6	349 80

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億90百万円増加し782億36百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得および投資有価証券の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ18億79百万円減少し483億43百万円となりました。この主な要因は、短期借入金および社債の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ26億69百万円増加し298億92百万円となりました。

3. 平成19年5月期の連結業績予想（平成18年6月1日～平成19年5月31日）（百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回業績予想 (平成19年1月19日発表)	75,300	2,400	3,000
今回業績予想	75,800	2,300	3,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益 39円13銭

平成19年5月期の個別業績予想（平成18年6月1日～平成19年5月31日）（百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回業績予想 (平成19年1月19日発表)	52,000	1,600	2,700
今回業績予想	53,000	1,700	3,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益 39円13銭

通期の見通しにつきましては、売上高では、当社の強みである環境対応商品を中心に当初の予想を上回る見込みで推移し、また、利益面では、当第3四半期において投資有価証券売却益2億42百万円を計上いたしましたものの、持分法適用会社の業績が当初の見通しを下回ると予想されること等により、上記のとおり通期の連結、個別の業績予想を修正いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成19年5月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年5月期 第3四半期末)		増減金額	(参考) 平成18年5月期	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
(資産の部)		%		%			%
I 流動資産							
現金及び預金	4,432		4,778		△ 345	8,184	
受取手形及び売掛金	20,903		20,607		295	19,587	
有価証券	1,773		1,772		1	780	
たな卸資産	9,719		9,182		537	8,679	
繰延税金資産	629		475		153	563	
その他	2,449		2,225		224	2,267	
貸倒引当金	△ 51		△ 101		49	△ 40	
流動資産合計	39,856	50.9	38,939	49.7	916	40,022	51.7
II 固定資産							
有形固定資産	24,714		25,123		△ 408	24,347	
無形固定資産	171		202		△ 30	193	
投資その他の資産	13,821		14,553		△ 732	13,223	
貸倒引当金	△ 327		△ 498		170	△ 341	
固定資産合計	38,379	49.1	39,380	50.3	△1,001	37,423	48.3
資産合計	78,236	100.0	78,320	100.0	△ 84	77,445	100.0

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成19年5月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年5月期 第3四半期末)		増減金額	(参考) 平成18年5月期	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
(負債の部)		%		%			%
I流動負債							
支払手形及び買掛金	17,901		18,346		△ 444	17,788	
短期借入金	9,288		10,027		△ 738	10,136	
その他	4,583		4,616		△ 33	5,139	
流動負債合計	31,774	40.6	32,990	42.1	△1,215	33,064	42.7
II固定負債							
社債	1,800		2,900		△1,100	2,900	
長期借入金	3,516		1,847		1,669	1,803	
再評価に係る繰延税金負債	5,445		5,445		—	5,445	
退職給付引当金	3,755		5,143		△1,387	3,708	
その他	2,052		2,964		△ 912	3,300	
固定負債合計	16,569	21.2	18,299	23.4	△1,730	17,157	22.2
負債合計	48,343	61.8	51,289	65.5	△2,946	50,222	64.9
(少数株主持分)							
少数株主持分	—	—	398	0.5	—	—	
(資本の部)							
I資本金	—	—	9,554	12.2	—	—	
II資本剰余金	—	—	2,652	3.4	—	—	
III利益剰余金	—	—	3,166	4.0	—	—	
IV土地再評価差額金	—	—	6,959	8.9	—	—	
Vその他有価証券評価差額金	—	—	4,310	5.5	—	—	
VI為替換算調整勘定	—	—	15	0.0	—	—	
VII自己株式	—	—	△ 25	△0.0	—	—	
資本合計	—	—	26,632	34.0	—	—	
負債、少数株主持分 及び資本合計	—	—	78,320	100.0	—	—	

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成19年5月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成18年5月期 第3四半期末)		増減金額	(参考) 平成18年5月期	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
(純資産の部)		%		%			%
I株主資本							
資本金	9,554	12.2	—	—	—	9,554	12.3
資本剰余金	2,652	3.4	—	—	—	2,652	3.4
利益剰余金	6,191	7.9	—	—	—	3,792	4.9
自己株式	△ 38	0.0	—	—	—	△ 27	△0.0
株主資本合計	18,359	23.5	—	—	—	15,972	20.6
II評価・換算差額等							
その他有価証券評価差額金	4,103	5.2	—	—	—	3,888	5.0
繰延ヘッジ損益	△ 28	△0.0	—	—	—	△ 23	△0.0
土地再評価差額金	6,959	8.9	—	—	—	6,959	9.0
為替換算調整勘定	167	0.2	—	—	—	29	0.0
評価・換算差額等合計	11,201	14.3	—	—	—	10,853	14.0
III少数株主持分	331	0.4	—	—	—	397	0.5
純資産合計	29,892	38.2	—	—	—	27,223	35.1
負債及び純資産合計	78,236	100.0	—	—	—	77,445	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成19年5月期第3四半期)		前年同四半期 (平成18年5月期第3四半期)		増減金額	(参考) 平成18年5月期	
	金額	百分比	金額	百分比		金額	百分比
I 売上高	57,243	100.0	55,948	100.0	1,294	75,493	100.0
II 売上原価	44,760	78.2	43,590	77.9	1,170	59,469	78.8
売上総利益	12,482	21.8	12,358	22.1	124	16,024	21.2
III 販売費及び一般管理費	10,887	19.0	10,874	19.5	13	14,098	18.7
営業利益	1,594	2.8	1,483	2.6	110	1,925	2.5
IV 営業外収益	664	1.2	664	1.2	0	946	1.3
V 営業外費用	490	0.9	459	0.8	30	580	0.8
経常利益	1,768	3.1	1,687	3.0	81	2,292	3.0
VI 特別利益	242	0.4	—	—	242	59	0.1
VII 特別損失	25	0.0	26	0.0	△ 0	189	0.3
税金等調整前 四半期(当期)純利益	1,985	3.5	1,661	3.0	324	2,162	2.8
法人税、住民税及び事業税	663	1.2	229	0.4	434	463	0.6
法人税等調整額	△1,515	△2.7	△ 88	△0.1	△1,426	△ 451	△0.6
少数株主利益	△ 21	△0.0	12	0.0	△ 34	16	0.0
四半期(当期)純利益	2,859	5.0	1,507	2.7	1,351	2,134	2.8

(セグメント情報)

事業の種類別セグメント情報

当第3四半期(自平成18年6月1日至平成19年2月28日)

(単位:百万円)

	インテリア 事業	自動車・車両 内装事業	その他	計	消去 又は全社	連結
I売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客 に対する売上高	27,530	25,497	4,215	57,243	—	57,243
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	34	13	139	188	(188)	—
計	27,565	25,511	4,354	57,431	(188)	57,243
営業費用	26,651	24,060	4,059	54,770	877	55,648
営業利益	913	1,450	295	2,660	(1,065)	1,594

(注) 1. 事業の区分は、製品の用途および市場の類似性を勘案し区分しております。

2. 各事業の主要な製品

- (1) インテリア事業……………カーテン、カーペット、壁装用クロス、家具用裂地 等
- (2) 自動車・車両内装事業……………自動車・バス・鉄道車両・航空機等の内装材
- (3) その他……………OEM事業、物性・性能検査業、損害保険代理業 等

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は1,036百万円であり、その主なものは当社の管理部門および研究開発部門にかかる費用等であります。

(事業区分の方法の変更)

事業区分の方法につきましては、従来「インテリア繊維製品事業」(カーペット、ドレープ、モケット等の製造・販売および施工)および「その他の事業」(損害保険代理業等)に区分しておりましたが、当社グループの事業実態をより適切に表示し事業の種類別セグメント情報の有効性を高める環境が整ったため、製品の用途および市場の類似性を勘案し、当期より「インテリア事業」、「自動車・車両内装事業」、「その他」の3区分とすることに変更いたしました。